【留意事項】
(1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
※1 1回線送電線のため1回線設備容量を記載
※2 1回線故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
(2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
(3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。
(4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N－1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N－1電制適用可であっても、設置されるとは限りません。
また、適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
#1 基幹系ループ系統のため
#2 1回線送電線のため
#3 系統安定度制約のため
(5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量（上位系考慮なし）の目安を記載しております。
(6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
(7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
(8) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。
※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。
https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm
(9) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
(10) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、予想潮流、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
(11) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。
＊https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryou.html
(12) 潮流値は、アップ潮流最大時の潮流を現時点で想定される条件において算出したものであり、実際の潮流値と異なる可能性があります。
(13) 個別需要が分かる専用線等や電源が1ユニットのみの電源線については第三者情報を排除するよう加工処理をしております。
(14) 当社の公開する系統アクセス情報を利用される方が本情報を用いて行う一切の行為について、当社は責任を負いません。
(15) ノンファーム型接続対象外の設備は、備考欄に「●」を記載しております。

2026年9月9日 更新

送電線No	送電線名	電圧[kV]	回線数	設備容量（100%×回線数）[MW]	運用容量値[MW]	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流[MW]	空容量[MW]	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量[MW]	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
													当該設備	上位系設備	
F001	熊坂線	77	154kV未満予想潮流・空容量（石川県）I093参照												
F002	翁岳線	77	2	481	361	熱容量	東金津→金津	−107	−	可	120	−	−	−	※2
F003		77	1			熱容量			−			−	−	−	◇
F004	金津線	77	2	175	88	熱容量	金津→金津線No.36	−6	−	可	87	−	−	−	
F005	丸岡支線	77	2	144	72	熱容量	金津線No.36→丸岡	−6	−	可	72	−	−	−	
F006		77	1			熱容量			−			−	−	−	◇
F007		77	1			熱容量			−			−	−	−	◇
F008		77	1			熱容量			−			−	−	−	◇
F009	三国線	77	2	175	138	熱容量	金津→三国線No.13	−71	−	可	37	−	−	−	※2
F010	芦原支線	77	2	181	90	熱容量	三国線No.13→芦原	−50	−	可	91	−	−	−	
F011	臨港三国線	77	2	165	82	熱容量	臨港→臨港三国線No.1	0	−	不可 #2	−	有り	−	H053	
F012		77	2			熱容量			−			有り	−	H053	◇
F013		77	1			熱容量			−			有り	−	H053	◇
F014	川西線	77	2	224	173	熱容量	北庄→臨港	−149	−	可	51	有り	−	H053	※2
F015	福井線	77	2	255	202	熱容量	北庄→福井線No.9	−9	−	可	53	有り	−	H053	※2
F016	北福井線	77	2	249	183	熱容量	福井→北福井	17	−	可	66	有り	−	H053	※2
F017	西長田線	77	2	175	88	熱容量	福井→西長田	−2	−	可	87	有り	−	H053	
F018		77	1			熱容量			−			有り	−	H053	◇
F019		77	1			熱容量			−			有り	−	H053	◇
F020	南福井連絡線	77	2	255	202	熱容量	北庄→南福井	16	−	可	53	有り	−	H053	※2
F021	南福井花堂線	77	2	255	217	熱容量	南福井→花堂	6	−	可	38	有り	−	H053	※2
F022	橋南線	77	2	175	88	熱容量	南福井→橋南	6	−	可	87	有り	−	H053	
F023		77	1			熱容量			−			有り	−	H053	◇
F024	開発北福井線	77	2	224	112	熱容量	開発→北福井	0	−	不可 #2	−	−	−	−	
F025	開発線	77	2	224	173	熱容量	松岡→開発	11	−	可	51	−	−	−	※2
F026	春江線	77	2	112	56	熱容量	松岡→春江	−2	−	可	56	−	−	−	
F027		77	2			熱容量			−			−	−	−	◇
F028	成和線	77	2	241	186	熱容量	松岡→成和線No.13-1	8	−	可	55	−	−	−	※2
F029	東郷支線	77	2	90	45	熱容量	東郷→成和線No.17	0	−	不可 #2	−	−	−	−	
F030	東福井支線	77	2	175	88	熱容量	成和線No.23→東福井	9	−	不可 #2	−	−	−	−	
F031	成和花堂線	77	2	255	128	熱容量	花堂→成和	0	−	不可 #2	−	−	−	−	
F032	荒土線	77	2	175	107	熱容量	松岡→荒土線No.35	−2	−	可	68	−	−	−	※2
F033	山王支線	77	2	96	48	熱容量	荒土No.35→山王	−8	−	可	48	−	−	−	
F034	西一線（荒土～壁倉分岐	77	2	175	87	熱容量	荒土→西一線No.38	0	−	可	88	−	−	−	※2
F035	西一線（壁倉分岐～西-	77	2	112	81	熱容量	西一線No.38→西一	−37	−	可	31	−	−	−	※2
F036	猪野口線	77	2	144	72	熱容量	西一線No.30→勝山	−18	−	可	72	−	−	−	
F037		77	1			熱容量			−			−	−	−	◇
F038	白峰勝山線	77	1	48	48	熱容量	勝山→白峰勝山線No.58	−18	−	不可 #2	−	−	−	−	※1
F039		77	1			熱容量	−	−	50	−	−	−	−	−	◇●
F040		77	1			熱容量			−			−	−	−	◇
F041		33	1			熱容量			−			−	−	−	◇
F042	西勝原連絡線	77	1	48	48	熱容量	西勝原連絡No.3→西勝原連絡線No.1	−7	−	不可 #2	−	−	−	−	※1
F043	西勝原富田線	77	1	35	35	熱容量	富田→西勝原富田線No.1	0	−	不可 #2	−	有り	−	F050	※1
F044	上打波線	77	1	18	18	熱容量	上打波線No.13→上打波線No.1	−10	−	不可 #2	−	−	−	−	※1
F045	富田線	77	1	87	87	熱容量	友江→富田線No.3	−63	−	不可 #2	−	有り	−	F050	※1
F046	五条方線	77	2	87	59	熱容量	友江→五条方線No.30	−55	−	可	28	有り	−	F050	※2
F047		77	1			熱容量	−	−	42	−	−	有り	−	F050	◇●
F048	西谷線	77	1	24	24	熱容量	五条方→西谷線No.8	−21	−	不可 #2	−	有り	−	F050	※1
F049		77	1			熱容量	−	−	0	−	−	有り	−	F050	◇●
F050	友江線	77	2	175	87	熱容量	越前→友江	−121	−	可	54	有り	対象	−	※2
F051	青島線	77	2	481	241	熱容量	越前→青島	−80	−	可	240	−	−	−	
F052	足羽線	77	2	87	43	熱容量	越前→足羽線No.20	0	−	可	44	−	−	−	
F053	足羽支線	77	2	48	24	熱容量	足羽線No.20→足羽支線No.1	−5	−	可	24	−	−	−	
F054	足羽持越線	22	1	7	7	熱容量	足羽→足羽持越線No.81	−1	−	不可 #2	−	−	−	−	※1
F055	小和清水線	22	1	7	7	熱容量	小和清水線No.1→小和清水線No.25	−1	−	不可 #2	−	−	−	−	※1
F056	東郷武生線	77	2	96	77	熱容量	新武生→東郷	−5	−	可	19	−	−	−	※2
F057	鯖江線	77	2	261	131	熱容量	新武生→鯖江	2	−	可	130	−	−	−	
F058		77	2			熱容量			−			−	−	−	◇
F059	水落線	77	2	117	58	熱容量	鯖江→水落	−3	−	可	59	−	−	−	
F060	粟田部線	77	2	144	72	熱容量	新武生→粟田部	5	−	可	72	−	−	−	
F061		22	1			熱容量	−	−	11	−	−	−	−	−	◇●
F062		22	1			熱容量	−	−	11	−	−	−	−	−	◇●
F063	京福支線	77	2	289	144	熱容量	新武生→京福支線No.30	−4	−	可	145	−	−	−	
F064	京福線（西武生～京福3	77	2	175	88	熱容量	京福線No.128→京福線No123	0	−	不可 #2	−	−	−	−	
F065	京福線（京福支線分岐-	77	2	48	24	熱容量	京福線N0.128→湯尾	−4	−	可	24	−	−	−	
F066	王子保線	77	2	175	88	熱容量	京福線No.123→王子保	−1	−	不可 #2	−	−	−	−	
F067		77	2			熱容量			−			−	−	−	◇
F068		77	1			熱容量			−			−	−	−	◇
F069		77	2			熱容量			−			−	−	−	◇
F070		77	2			熱容量			−			−	−	−	◇
F071	吉川線	77	2	175	88	熱容量	丹生→吉川線No.25	−4	−	可	87	−	−	−	
F072	西田中支線	77	2	112	56	熱容量	吉川線No25→西田中	−4	−	可	56	−	−	−	
F073	西武生線	77	2	255	128	熱容量	丹生→西武生	4	−	可	127	−	−	−	
F074	江守線	77	2	255	128	熱容量	丹生→江守線No.23	−3	−	可	127	−	−	−	
F075	神明支線	77	2	175	88	熱容量	江守線No.23→神明	−3	−	可	87	−	−	−	
F076	織田線	77	2	117	58	熱容量	丹生→織田	−6	−	可	59	−	−	−	

送電線No	送電線名	電圧[kV]	回線数	設備容量（100%×回線数）[MW]	運用容量値[MW]	運用容量制約要因	潮流方向	予想潮流[MW]	空容量[MW]	N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量[MW]	平常時出力制御の可能性	平常時出力制御の可能性がある設備		備考
													当該設備	上位系設備	
F077	蒲生線	22	1	10	10	熱容量	織田→蒲生	0	－	不可　＃2	－	－	－	－	※1
F078	米ノ浦線	22	1	10	10	熱容量	―	－	8	－	－	－	－	－	※1●
F079	道口線	22	1	10	10	熱容量	―	－	9	－	－	－	－	－	※1●
F080	道口米ノ浦線	22	1	10	10	熱容量	―	－	10	－	－	－	－	－	※1●
F081	四ツ杉支線	22	1	10	10	熱容量	―	－	8	－	－	－	－	－	※1●
F082	宮崎支線	22	1	10	10	熱容量	―	－	9	－	－	－	－	－	※1●
F083	白山支線	22	1	10	10	熱容量	―	－	8	－	－	－	－	－	※1●
F084	東浦線	77	2	481	241	熱容量	敦賀火力→東浦線No.7	−14	－	可	240	－	－	－	
F085		77	1			熱容量			－			－	－	－	◇
F086	敦賀連絡線	77	2	181	90	熱容量	東浦線No.7→敦賀	−23	－	可	91	－	－	－	
F087		77	2			熱容量			－			－	－	－	◇
F088		77	2			熱容量			－			－	－	－	◇
F089	西敦賀線	77	2	144	72	熱容量	新敦賀→西敦賀線No.31	3	－	可	72	－	－	－	
F090		77	1			熱容量			－			－	－	－	◇
F091		22	1			熱容量			－			－	－	－	◇
F092	富田支線	77	1	50	50	熱容量	―	－	50	－	－	有り	－	F050	※1●
F093		22	1			熱容量	―	－	10	－	－	－	－	－	◇●
F094	中福井線	77	2	59	30	熱容量	福井→中福井	8	－	不可　＃2	－	有り	－	H053	
F095	春山線	77	2	72	36	熱容量	北福井→春山	7	－	不可　＃2	－	有り	－	H053	
F096	壁倉線	77	2	278	183	熱容量	西一線No.38→壁倉線No.2	−81	－	不可　＃2	－	－	－	－	
F097	立石線	77	1	50	50	熱容量		0	－	不可　＃2	－	－	－	－	